組合ニュース

第１５１７１号
２０１８年１０月１１日(木)
新日鐵住金和歌山労働組合
組　織　教　宣　部

WAKAYAMA WORKERS' UNION

組 合 Ｈ Ｐ　http://nssmwu.jp/
代表内線番号　和歌山地区(本部) (54)-3590　堺地区 652990　海南地区 (54)-5555

和歌山労組第６回定期大会を開催！

2018 年 10 月 4 日（木）17 時 30 分より組合会館 2 階大会議室において、代議員 163 名参加のもと和歌山労組「第 6 回定期大会」を開催しました。

冒頭、和歌山労組を代表し、山本組合長より挨拶があり、続いて来賓の皆様からご挨拶をいただきました。その中で新日鐵住金労連の大森会長からは「和歌山労働組合の皆さんには、新日鐵住金労連の各種活動にご協力いただき感謝申しあげます」と御礼があり「鉄鋼産業の状況と課題」「安全について」「魅力ある労働条件」等についての挨拶が述べられました。



【山本組合長】

本大会では、「第 51 期後半年度活動方針に関する件（案）」「2019 年度会計予算に関する件（案）」「組合規約・規程の一部改正に関する件（案）」の 3 議案について審議され、全て満場一致で可決・決定されました。



【大森会長】

なかでも、第 1 号議案「第 51 期後半年度活動方針に関する件（案）」については、5 名の代議員より原案賛成の立場で補強意見が述べられ、執行部を代表し中濱書記長より、各補強意見に対して答弁がありました。

その後、大会宣言（案）では、和歌山製鐵所で働くすべての人が「元気に出勤、元気に帰宅」できる組織を構築すべく全組合員一丸となって挑戦することを宣言し、代議員の皆様の拍手を持って確認いただきました。

最後に、谷路副組合長の発声によるガンバロウ三唱で締め括り、大会は盛会裏におわりました。

後半年度においては、組合員の「安全と健康」の確保はもとより、2020 年中期経営計画の完遂や来年 4 月に施行予定の統一地方選挙、また 7 月に施行予定の第 25 回参議院議員選挙等、山積する諸課題に対して各支部との連携を強化し全力で活動を展開してまいります。

組合員皆様におかれましては、引き続き労働組合に対してのご支援とご協力をよろしくお願い致します。



【ガンバロウ三唱の風景】

山本組合長挨拶（要旨）

大会代議員の皆様、ご安全に。

開会にあたり、和歌山労組を代表してご挨拶を申し上げます。

まずもって、組合員の皆様におかれましては、常日頃から和歌山労組の諸活動に対し、ご理解ならびにご協力を賜っておりますこと、心からお礼を申し上げます。

また、職場において、安全・環境・防災を最優先とした日々の安定操業にご尽力を賜っている点、さらに、本年発生した数々の自然災害に対する上部団体主催の支援カンパへのご協力、ならびに台風の襲来による職場での様々なご対応につきましても、重ねてお礼を申し上げる次第であります。

和歌山労組は、昨年 9 月から第 51 期として前期の課題を踏まえつつ、足元そして将来を見据えて策定した 2 年間の運動方針に基づき、執行部・支部長が一枚岩となって鉄鋼労働運動の精神に則り、様々な具体活動を展開して参りました。後半年度においても、その主軸はいささかも変わりはございません。和歌山労組のやるべきことを今一度、数点にわたって申し上げたいと思います。

一点目は、職場の「安全と健康の確保」への取組みを、さらに強化しなければならないということです。

和歌山製鐵所は、2015 年 12 月以降、休業以上の災害を何とか食い止めて参りましたが、先月、残念ながら休業災害が発生したことはご承知の通りです。労使・直協一丸となって、日々の安全活動の強化に取組んできたことは間違いありませんが、職場にはまだまだ摘み取れない危険な「盲点」がある、そのことに管理者から職場第一線まで真摯に向き合うことが大切です。

和歌山労組は、後半年度も労使話し合いの場において、現場へのさらなる安全配慮を要請していくことはもとより、各支部と連携して、これまで以上に年間安全活動を展開して参ります。特に、年末年始および夏期の安全強化活動における執行部・支部長合同の、製鉄所各門での早朝安全立哨に加え、執行部による毎月の「全社安全の日」を中心とした早朝安全立哨も先月から新たに始めたところです。現場への都度都度の安全巡視とともに、製鉄所で働くすべての方に、日々の安全確保を心から呼びかける活動の一つとして、継続して参ります。

二点目は、「和歌山製鐵所の経営基盤向上に資する経営対策の強化」についてです。

2020 年中期経営計画で示された最適生産体制の構築には、和歌山製鐵所に関わる重要施策が多々あり、第 5 高炉から新第 2 高炉への切り替えや君津小径シームレス鋼管の海南地区への集約については、関係職場にて着々とその実現に向けてご尽力を頂いております。また、日鉄住金スチール製鋼設備の休止、エア・ウォーターのガス精製事業の直営化についても、今後、具体性が増してくるものと思います。

いずれにしましても、国内マザーミルの「つくる力」を継続強化し「総合力世界 No.1 の鉄鋼メーカー」に向け、進化を続けるための今次計画の一つであります。同時に、これまで慣れ親しんだ職場がなくなる組合員の心情も、我々和歌山労組として十分斟酌しながら、与えられた役割と責任を果たして参りましょう三点目は、「産業政策」「政策・制度」等への取組みについてです。

労働組合の役割として、組合員の労働条件の維持・向上や雇用の安定、職場環境の改善など労使で解決するもの、もうひとつは産業・企業の発展に資する資源・エネルギー問題、社会保障や税制改革、インフラ整備など、いわゆる「社会的責任」を果たすという、大局観に立った政策実現への取組みがあります。

このことについては、我々ものづくり産業の代表として、国会や地方議会の場において、関係省庁への働きかけや意見反映など、代弁者として活躍してもらうことによる「マクロ的好循環」を生み出

すことが目的であり、その目的を果たすために、推薦議員を国政・議会に送り出すことが何よりも不可欠であることを、組合員の皆様に申し上げたいと思います。

後半年度においては、11 月の和歌山県知事選挙を皮切りに、来年 4 月の統一地方選挙では、「浦口県議会議員」と「寒川市議会議員」の再選に向けての全面的な支援、そして 7 月の参議院議員選挙においては、基幹労連代表である「田中ひさや」氏を組合員総意のもと、必ずや国政の場に送り出さなければならないという責任があります。企業内労使で出来ることと、代弁者である議員を通じての政策実現活動、この両輪としての労働運動が、非常に大事なんだということを、職場の皆様へぜひご説明をお願い致します。

これらに加えた、重要な課題として、まずは、2 年サイクルの個別年度である「ＡＰ19 春季取組み」による、関係・協力企業の労組への支援強化に徹すること、また、「65 歳現役社会の実現」に向けた取組みについては、この秋から、新日鐵住金労連が労使協議会を始められることから、和歌山労組としても積極的に参画していくこと、さらに、各職場における要人員バランスの実態、とりわけ、操業・整備系職場における再雇用者や、女性の配置拡大についての現状把握と課題を踏まえた人材育成・採用計画などについて、会社の考え方を質すとともに、現場の生の意見を反映させるなど、より適正な要人員バランスの実現に向けて進めて参ります。

加えて、会社として、働き方改革における具体的な対応が図られているところですが、和歌山労組としても、毎月の 36 協定を基に時間外労働の削減に向けて点検を強化し、組合員が心身ともに、健康な会社生活を送れるよう努めて参ります。

一方、組織の活性化をめざすべく、労使で進めている「和歌山製鉄所・ユニオン杯」の盛り上げや、組合財政ならびに組織の更なる健全化に資する「組織機構・財政検討委員会」の最終答申に向けての検討、労金・全労済・夢プランの加入者拡大に向けての積極的な促進、そして、組合役員の人材育成を何よりも強化していかなければなりません。弱い立場にある働く者の味方となり、正義感・使命感を兼ね備えた組合役員を育てるべく人材育成に向けて中長期ビジョンで取組んで参ります。そのことが労働組合を強くし、組合員を守ることが出来るのだと申し上げておきます。

いずれにしましても、和歌山労組は新日鐵住金労連傘下の単組として、連合会との連携を図りながら、職場の安全確保、経営基盤の強化、ワーク・ライフ・バランスの実現等を中心とした職場のさらなる健全性に努めるとともに、連合和歌山を中心とする地域団体への役割と責任の追求、推薦議員との緊密な情報交換による社会的責任の実行、福祉事業団体への積極的な関わりなど「総合力世界 No.1 の鉄鋼メーカー」の早期実現に相応しい労働組合の存在意義を示すべく、和歌山製鐵所労使の信頼と緊張を保ちながら、与えられた使命を果たしていくことが肝要であると決意するところです。

結びとして、和歌山労組第 51 期の後半年度では、来年 4 月に新日鐵住金から日本製鉄へ商号変更されることに伴い、新日鐵住金労連および和歌山労組も名称変更を迎えるタイミングとなりますが、前半年度にも増して、安全衛生対策・経営基盤の構築・働き方改革などの重要課題が山積しております。

組合員の皆様、新日鐵住金和歌山労働組合は、これらの課題に対し自覚と誇りを持ち、執行部・支部・青年女性部がさらなる一体感を醸成しながら、明るく元気を出して取組んで参ります。

どうか、後半年度も絶大なるご支援とご協力を賜ります様，心からお願い申し上げ、第 6 回定期大会開会にあたっての挨拶に代えさせて頂きます。

共に頑張りましょう。ご安全に。

◆第１号議案「第 51 期後半年度活動方針に関する件（案）」に対しての補強意見が述べられる。

本定期大会での第１号議案「第 51 期後半年度活動方針に関する件（案）」に対して、５名の代議員より補強意見が述べられました。



鋼片支部
堀之内代議員

「より快適な職場環境の確立」、「魅力ある労働諸条件の確立」、「雇用の基盤に資する経営対策の強化」の３点について

「メンタルヘルス対策の強化」、「組織・財政基盤の構築」、「福祉事業団体等への対応」の３点について



圧延保全支部
井上代議員



小径製管支部
玉井代議員

「安全で健康な職場環境の確立」、「雇用の基盤に資する経営対策の強化」、「組織・情報宣伝活動の更なる活性化」の３点について

「世界一安全な製鉄所をめざして」、「ふれあい対話活動の充実化に向けて」、「産業政策・政策制度課題への取組み」の３点について



コークス支部
吉田代議員



動力支部
北端代議員

「産業政策・政策制度諸課題への取組み」、「安全で健康な職場環境の確立」、「将来を担う人材の育成について」の３点について

◆和歌山労組第６回定期大会での組合長挨拶、補強意見、書記長答弁の内容につきましては、組合ホームページに全文掲載致しますのでホームページのご確認をお願い致します。

ユーザーＩＤ：wwuser
パスワード：wakayamapw

組合ホームページ
ＱＲコード

※お詫び

前回発行しました組合ニュースの３ページに掲載しております、政策実現対策委員会報告「和歌山県知事選挙における立候補予定者の推薦について」に誤りがございました。

修正箇所は以下の通りとなります。大変申し訳ございませんでした。

和歌山市在住組合員の生活の活性化、公正な県政運営に尽力いただけるものと判断し上記の立候補予定者を推薦します。
各支部のご理解とご協力お願いします。

→

和歌山県在住組合員の生活の活性化、公正な県政運営に尽力いただけるものと判断し上記の立候補予定者を推薦します。
各支部のご理解とご協力お願いします。